

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

# ハナモモ通信

2016年 11月

【発行】  
河北新報普及センター  
【協力】  
尚絅学院大 河北仙阪  
【エリア】  
名取市内  
【部数】  
11,600部  
【電話】  
022(266)2991



## 高野氏、地域再生体験伝える

### 「ローマ法王に米を食べさせた男」著者



講演する高野さん

「可能性へのチャレンジ」をテーマに、などセシオン市民活動フォーラム「高野誠鮮氏から学ぶ成功する行動の法則」が10月29日、名取市市民活動センターで開催され、市民89人が参加



会場には、たくさんの市民が集まりました

「ローマ法王に米を食べさせた男」著者、講師兼アドバイザーの高野誠鮮氏は、元地方公務員で現在は日蓮宗僧侶兼科学ジャーナリストという異色の経歴の持ち主です。地方公務員時代には、ドラマ「ナポレオンの村」のモデルとなった石川県羽咋市の活性化に寄与し、限界集落を画的な試みで再生させました。

講演では、羽咋市産の米をローマ法王に寄贈し、ブランド化した話をはじめ、観光客誘致のために海外で利用された本物のロケットや月の石を調達した話など、豊かな発想力と行動力で実践してきた経験談を披露しました。

「はならない」などと指摘。行動を起こし失敗しても、成功するまで続けることが大切と訴えます。本フォーラムでは「チャレンジ活動の現場から」をテーマにパネルディスカッションも開催。NPOや市民団体の代表がパネリストとなり活動を報告しました。



パネルディスカッションでは活発な意見交換が

パネラーにはゆりあげもめの佐竹悦子氏、ふうどばんく東北AGAINの地主雅信氏、ハナモモ通信の阿部杏圭が参加。活動の中で困難していることやこれからの在り方など多くの質疑が飛び出し、活発な議論が行われました。

(阿部 杏圭)



## 心と体スツキリ

### 仮設住宅でリラックス体操

体を動かし心身を癒やす「尚絅学院大学ふれあいサロン」でリラックス体操(動作法)を行います。この第4回目が10月18日、愛島東部仮設住宅で行われました。

リラックス体操を指導したのは、尚絅学院大人間心理学の三好敏之教授(57)です。三好教授は今年、神戸市の特別支援学校から同大に赴任してきました。

リラックス体操は、動作法を基にしています。動作法は、体を動かし、心身の調子を整える心理療法の一つです。動作法では「心の不応は、必ず体の不応として現れる」と考えられています。そして療法士のサポートを受けながら、自

ら意識して正しく体を動かすことで、体と心の不調を直していきます。初回から参加していると、遠藤かつみさん(73)は、足を伸ばすことができず、寝返りも打てなかった時期が以前あったそうです。現在は、杖を突いて医者にもかよえるようになりました。「動作法を受けました後は、スツキリしてシヤンシヤンと歩いて帰られる」と笑顔で話します。



右から三好教授、遠藤さん、お手伝いをしてくれた尚絅学院大事務の松田さん

無事でしたが、自宅は全壊しました。その後すぐ避難所での動作法を開始しました。その活動が認められ、病院でカウンセラーとして働いた経験もありました。被災者としての経験から東北の被災地に関わり始め、現在は仙台市太白区に自宅を構えながら、東北と関西の様々な施設で動作法支援を行っています。

設で動作法支援を行っています。三好教授は名取市内の仮設での活動について「膝が伸びた、楽になったという声があり、効果を実感してもらっています」と手応えを感じているようです。そして展望について「みなさんが元気な生活ができるようになってほしいです。仮設がある限り、活動していきます」と自信に満ちていました。



三好教授から施術を受ける遠藤さん

現在、動作法支援は愛島東部、美田園、箱塚屋敷の仮設住宅、福島県の南相馬の障がい者施設、尚絅学院大では障がい者(児)を対象に月1回行われています。動作法を受けたいという方は、尚絅学院大総合人間科学部人間心理学科 三好敏之(022-1381-3357)まで。

(白鳥 颯也)

# 本の森を探検

## 謎解き！図書館オリエンテーリング

### 尚綱学院大図書館



尚綱学院大の図書館



尚綱学院大の図書館は名取市、仙台市太白区にお住まいで18歳以上の方ならだれでも利用できることをご存じでしょうか。

尚綱学院大の図書館をもっと多くの人に親しんでもらおうと有志の学生がライブラリーメイトとして集い、初めて企画したイベント「謎解き！図書館オリエンテーリング」が10月15日、尚綱学院大大学祭「尚志祭」で開催されました。

尚綱学院大の図書館をもっと多くの人に親しんでもらおうと有志の学生がライブラリーメイトとして集い、初めて企画したイベント「謎解き！図書館オリエンテーリング」が10月15日、尚綱学院大大学祭「尚志祭」で開催されました。

当日は35人の参加者が訪れ、図書館の中を探検しました。

本イベントは地図をもとに館内にちりばめられた問題を解いていき、問題の正答数とタイムで高得点を狙うゲームです。問題は大学にある現代社会学科、人間心理学科、表現文学科、表現代文学科、化学科、こども学、健康栄養学、環境構想学、6つの学科に

「探検するのが楽しかった」と笑顔で答えてくれました。佐野優美子さん(13)は



し、クイズでいろいろなことを知る事ができた。こういう機会があったらまた来たい」と景品のブックカバーを作りながら話してくれました。



楽しくブックカバーを作りました

須藤千佳さん(45)は「本の種類が多く、普段読まないようなものもたくさんあって本に興味を湧いた。自然もたくさん感じられて、ゆっくり過ごしたいところだ」と窓の外を見ながら話してくれました。普段は名取市、仙台市太白区どちらかに在住で18歳以上という制限があります。尚綱学院大が年に数回開催しているオープンキャンパスの時には図書館も一般開放されており、どなたでも館内自由に閲覧、利用することが出来ます。普通の図書館ではなかなか見つかからないディープな知識がいっぱいの図書館へ皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。(亀山 智美)

## なるほど名取

# 閑

「ゆりあげ」という地名は、この地の浜に「観音像が揺り上げられた」という伝説から「ゆりあげ浜」と名付けられたそうです。

元禄十年(1697年)仙台藩四代藩主伊達綱村公は、大歳寺を参拝した際、山門を通して見えた遙か東方の景色の中に輝く水辺が見えたことから「門のなかに水を書き閑上とよぶように」との言葉で「閑」の字が誕生したという説があります。

※大歳寺



大歳寺惣門から閑上方面を眺望

仙台藩祖伊達政宗公から三代綱宗公は青葉山経ヶ峯に瑞鳳殿(政宗公廟)、感仙殿(忠宗公廟)、善応殿(綱宗公廟)と豪華な霊廟が建立されてきました。四代綱村公は、茂ヶ崎城跡(太白区茂ヶ崎)に大歳寺を開基、その後歴代藩主の墓所と定められました。遺訓に「先規に従い毎世廟を建てなば後世子孫何を以て保たん、我死せば墓石を建て、瓦葺の屋根を覆うまでにすべし」に従い、その後の藩主の御霊廟は建てられなかったそうです。

## なとり

### 歴史散策④

名取市には、以前紹介した下余田熊野三社、高館熊野三社以外にも熊野という名のついた神社があります。高館川上に鎮座する今熊野神社を紹介します。

## 今熊野神社

仙台藩祖伊達政宗公の命により慶長5年(1600年)に勧請。昔、この地を赤坂山といひ熊野三社権現を信心していた女性がこの地に社を建立したいと100日に及ぶ山ごもりを行いました。これを知った川上



村の長が政宗公に陳情し社が建立されたといわれています。神社には「今熊野神社付属神楽」が伝えられ、市指定民族無形文化財に指定されています。

## プレゼント企画

皆さんからのご意見、ご感想と情報提供をお待ちしております。11月号プレゼント企画として、「かほピョンランチボックス」を6名にプレゼント。住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだ感想、要望などを記入してメールかファクス、または郵送で「KFCハナモモ通信プレゼント」係まで。

メール: hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp

(住所) 〒980-0022  
仙台市青葉区五橋  
1-11-10  
(FAX) 227-8333



ハナモモ通信  
フェイスブック  
QRコード